



ボクとワタシの、ギソクとダンタン

後援：川村義肢（株）、パシフィックサプライ

開催日：2017年8月6日（日）10:00～16:00

PAFF の第1回大阪イベントが川村義肢（株）大東本社で開催されました。

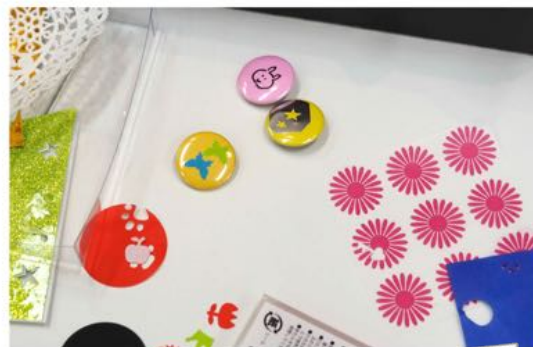
義足を使うお子さん同士が仲良くなり、義足や断端を見せ合い、理解を深めることがテーマでした。そして、ご家族同士も仲良くなることで、情報交換・共有ができる「場」を提供したいとの思いもあります。今回は、19名のお子さんと、その家族の方が参加しました。

イベントではボディペインティング、綿菓子や缶バッジ作りなどがあり、参加したお子さん達は思い思いのイベントを楽しんでいました。



イベント内容

- 綿菓子
- 缶バッジ作り
- バルーンアート
- ボディーペイント（仁童さん・こゆりさん）
- 先輩の話（山本篤さん）
- みんなで昼食
- 義肢装具士による断端のお手入れ講義
- みんなの得意なことを披露（縄跳び、一輪車など）
- 写真撮影



自分の断端への理解を深めるために

義足を履く足を「断端・ダンタン」と呼びます。断端を清潔にすることは大切です。自分の断端の理解を深めるため、希望者には清潔にした断端に“ヘナ”によるボディペインティングも。皆さんボディペインティングした自分の断端に興味津々でした。お手伝い頂きましたアートディレクターの仁童（じんどう）さん、イラストレーターのこゆりさん、ありがとうございました。

そして、断端をお手入れするための講義がありました。参加したお子さんの家族からも多くの質問があり、断端管理の大切さを学びました。



アートディレクターの仁童さん



イラストレーターのこゆりさん

先輩の話：山本 篤 選手

陸上選手の山本篤選手（スズキ浜松アスリートクラブ所属）が来てくれました。事故により足を切断し義足になり陸上競技に出会ったこと。そして現在、陸上選手として活躍する話に、皆さんは真剣に聞き入っていました。参加者からは多くの質問も。山本選手はその質問一つ一つに真剣に答えてくださいました。会場で見せてくれた走りは迫力満点で、その力強い走りに参加者は魅了されました。その後も、イベント最後までいてくださり、一緒にイベントを盛り上げてくださいました。山本選手ありがとうございました。



陸上選手 山本篤さん



参加者の声

アンケートから参加された皆さまが楽しんで頂けたことが伝わってきました。「義足を履いている自分の子ども以外の方とお会いでき、家族にとっても、本人にとっても良い機会になった」「コミュニティが広がる良い企画と思います」という意見を多くいただきました。その一方で「もう少し家族同士のコミュニケーションがとれる環境があると良い」という意見もあったこと、今後の課題といたします。我々は今後とも義足・義手を使う子どもとその家族にとって、より良い活動ができるよう努めていきたいと思っております。

ご参加頂いた皆さまありがとうございました

本イベントのご後援をいただきました川村義肢（株）そしてパシフィックサプライの皆さま最後まで子ども達をサポートしていただきました皆さまに感謝いたします。

平成 29 年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業



〒104-0041

東京都中央区新富 2-5-10

MAIL : habilis.japan@gmail.com

Site : <http://habilisjapan.wixsite.com/habilisjapan>